

豊かな縄文世界
白神の山あいで育まれた

白神山地の縄文

是川縄文館秋季企画展二〇二〇
Jomon affluent world in the Shirakami Mountains



狩猟文土器 <川原平(6)遺跡>



土偶 <川原平(1)遺跡>



四脚土偶 <水上(2)遺跡>

10月10日(土) - 11月23日(月・祝)

八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館

後援=「青森県の縄文遺跡群」世界遺産をめざす会・株式会社東奥日報社・株式会社デーリー東北新聞社・青森放送株式会社・株式会社青森テレビ・株式会社八戸テレビ放送・青森朝日放送株式会社・株式会社ビーエフエム 協力・提供=青森県埋蔵文化財調査センター・岩木川ダム統合管理事務所



しらかみ

白神の山あいで育まれた豊かな縄文世界



土偶 <川原平(1)遺跡>

青森県西目屋村の津軽ダム建設にともなう最近の発掘調査によって、白神山地の山あいに縄文時代の遺構や遺物がたくさん見つかりました。

縄文人たちは1万年以上も前からこの地域で活動するようになり、やがて大きなムラを営み、豊かな文化を育てていました。北海道や中部地域などの遠くの地域からヒスイや黒曜石、天然のアスファルトなども運ばれています。本展覧会では、白神の山々や岩木川に囲まれた地域で営まれた縄文世界を出土品とともに紹介します。



土製耳飾 <川原平(1)遺跡>



尖頭器・搔器 <鬼川辺(1)遺跡>

関連イベント

◎ 企画展ギャラリートーク

日時= 会期中毎週土曜日 午後2時～
※10月10日(土)、11月7日(土)、14日(土)は午前10時～
会場= 是川縄文館 2階 企画展示室
企画展をご観覧の方が参加できます。申込不要。

◎ 企画展考古学講座

演題= 「白神山地の恵みと西目屋縄文遺跡群」

講師= 齋藤 岳 氏 (青森県埋蔵文化財調査センター総括主幹)
日時= 11月7日(土) 午後2時～午後4時
会場= 是川縄文館 1階 体験交流室 要申込
定員= 50名(定員に達し次第、受付を終了します。)



人面付注口土器 <川原平(1)遺跡>



鳥型土器と蓋として使われたキノコ型土製品 <大川添(3)遺跡>



八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館

【開館時間】午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで) ※休館日 10月12日・19日・26日・11月4日・9日・16日

【観覧料】一般250円 大・高校生150円 中・小学生50円(団体料金有)※各種減免がありますので詳しくはお問合せください。11月3日は文化の日で観覧無料!

【交通】バス: JR八戸駅東口 南部バス=是川縄文館ゆき、約20分(土・日・祝日) 自動車: 八戸ICから10分